

2 . 全体評価

(1)全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林資源の保護	森林環境保全の推進	林野火災の大規模化の抑制 (全体件数を占める焼損面積 0.1haの件数割合)	77	%	R5	82	%	R6	52% (17件/33件)	63%	R6	R7.10.8 県消防安全課の速報に基づくもの
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	素材生産量(目標値)	1,828,000	m3/年	R5	1,879,000	m3/年	R6	1,594,994	85%	R6	R7.10.21 R6木材統計等より抜粋 R6年1月～12月
		労働災害発生件数	45	件	R5	39	件	R6	51	76%	R6	R7.10.21 岩手労働局統計資料 R6 年1月～12月
	特用林産物の担い手の育成	研修会等の参加者数(延べ人日)	61	人	R5	76	人	R6	139	182.9%	R6	R7.10.28 実施した研修会への参加者を累計したもの

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。ただし、現状値より数値を縮減する(減少させる)ことを目標とする指標については、目標値／目標年度の実績とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林資源の保護	本事業を活用して初期消火機材の導入を進めたが、令和6年の林野火災の発生件数(33件)に対する焼損面積0.1ha以下の発生件数(17件)割合は52%となり、令和6年の達成率(目標値82%に対する発生件数の割合)は63%と目標値を下回る実績となった。	今後も初期消火機材の導入を進めるとともに、林野火災の発生原因に野焼き、火入れなど人為的なものが依然として多く、発生件数が春期に集中していることから、山菜取りなどの不特定多数の入山者や農林業従事者への注意喚起や、メディアによる広報宣伝、横断幕、ポスター、SNS等を活用した山火事防止活動に引き続き取り組む必要がある。
林業の多様な担い手の育成(労働安全の確保)	労働災害発生の未然防止に向けて研修等を実施したが、目標達成には至らなかった。	林業事業体における安全衛生水準の向上が課題であり、当該事業を継続することにより、労働安全衛生活動の普及啓発に取り組み、水準向上を図る必要がある。
林業の多様な担い手の育成(特用林産物の担い手の育成)	本事業を活用し、木炭生産技術向上を図る研修会を実施した。研修期間中に積極的に受講があったため、目標値を上回る成果となった。	引続き特用林産物の担い手に対して、研修会等を実施し、生産能力や労働安全性の向上を図る。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。